



須恵

sue
2005



「かぶとづくり」上手にできたかな?(町立第一保育所)

須恵町議会だより 151号

3月定例会

主な内容

69億7,600万円一般会計当初予算を可決!.....2

ここが聞きたい(一般質問).....6

元気ある須恵町を!.....12

EJのリーダー(須恵町体育指導委員会会長にインタビュー).....16

町のリーダー

第13回

さん



須恵町体育指導委員会会長
小山田 賢悟 氏

須恵町の各種団体施設などの代表者にインタビュー、今回は、二月五〜六日に鹿児島市で開催された第四十七回九州地区体育指導員研究大会の席上で、九州地区体育指導員功労者賞を受賞されました須恵町体育指導委員会の会長さんです。

自己紹介をお願いします。
今年五月で五十七歳になります。
野球が趣味で、昭和四

十八年須恵町野球連盟発足と同時に入部し、健康広場で毎日の様に野球や審判をしていた当時を懐かしく思い出しています。
昭和六十三年に体育指導委員への要請を受け、早いもので今年で十八年目を迎えました。
平成十年度からは、会長として仲間十一名と共に、須恵町のスポーツ振興に少しでも役立てばと頑張っています。

体育指導委員会とはどのような団体ですか。

昭和三十六年スポーツ振興により、全国市町村に体育指導委員会が発足しました。
当時はスポーツの実技指導が主な役割でしたが、時代の変化と共にその役

今後の抱負を

お願いします。

少子高齢化社会を向かえる中で、いつでもどこでも、いつまでも、スポーツを親しむ事ができる生涯スポーツ社会(即ち国が提唱している「総合型地域スポーツクラブ」)を早く立ち上げる事です。

割・目的も変わって参りました。
近年では、町民の皆様が一人でも多く参加できる様なスポーツイベントの企画や、ニュースポーツの紹介および指導、また、指導者の養成を目的とした研修会等を実施しています。
現在、男性九名・女性三名の十二名の体育指導委員で構成しています。

議会に何か要望されたいことがありませんか。

町議会の皆様におかれましては、スポーツ議員団を結成され、ほとんどの議員の方が入会されていると聞いております。
私達、町のスポーツ活動に携わっている者として、大変心強く感じています。
今後共、更にご理解頂き、ご支援賜ります様お願い致します。

町議会の活動の状況を知るために、どなたでも傍聴できます。申込みの受付は、役場4階議会事務局で行っています。なお、次の定例議会は、6月16日からの予定です。
広報特別委員会

- 委員長 緒方 義人
- 副委員長 森 勝己
- 委員 今村 桂子
- 委員 長澤 誠司

編集後記

驚天動地とは、予測もしなかつた地震のことだろうか。
休日で自宅にいたが、正直、おさまるまで動けませんでした。
三月二十日午前十時五十三分の出来事でした。
町民の誰もが福岡は地震が少ないと思っていただけにショックも大きかったのではないのでしょうか。
常日頃の警戒と備えを考えたのは私一人ではないと思います。
平成十七年度予算も厳しい財政難の中、新年度が始まります。
入学や入社・転職など多くの人が新しい出発を迎える年度始めの時期です。
大きな目標を胸に共に飛躍する一年にしたいものです。

森 勝己

3月定例会

平成17年度 一般会計

69億7,600万円

可決!



開会を宣言する長澤議長

平成17年第1回定例会は、3月8日から3月24日までの17日間で行われ、提案された28件の議案、発動2件は、原案のとおり可決、承認されました。

なお、継続審査となっていた請願2件、陳情1件については、請願1件が引き続き継続審査となり、残る請願1件と陳情1件については、不採択となりました。

7会計総額 138億7,800万円

平成十七年度の各会計の当初予算が決定しました。

総額百三十八億七千八百万円、前年度と比較して、率にして〇・九%の増額となり、その主なものは、

一般会計
障害者福祉費、二億二千六百六十五万円
国民健康保険特別会計への繰出金、一億三千八百六十六万円
老人保健特別会計への繰出金、一億七千八百

三十一万円
公共下水道事業特別会計への繰出金、三億五百二十万円
介護保険広域連合への負担金、二億六千二百九十九万円
須恵町外二ヶ町清掃施設組合への負担金、五億四千四百九十六万円
粕屋南部消防組合への負担金、二億四千五百九十二万円等です。

五十二万円
内原、大谷線道路整備受託事業費、二億四千万円
須恵中学校体育館規模改造事業費、九千二百万円
西体育館屋根防水工事費、一千八百万円
避難所及び避難所誘導標識設置工事費、四百九十二万円等です。

平成17年度各会計当初予算額

会計区分	H17年度予算額	H16年度予算額	比較 (%)	
一般会計	69億7,600万円	73億5,000万円	5.1	
国民健康保険特別会計	23億2,663万円	19億3,564万円	20.2	
老人保健特別会計	22億0,739万円	22億3,363万円	1.2	
奨学資金特別会計	307万円	289万円	6.2	
公共下水道事業特別会計	10億3,693万円	11億3,296万円	8.5	
農業集落排水事業特別会計	8,840万円	9,294万円	4.9	
水道事業	収益的支出	5億6,133万円	4億8,337万円	16.1
	資本的支出	6億7,824万円	7億6,723万円	11.6
計	138億7,800万円	139億9,870万円	0.9	

国民健康保険特別会計
一般被保険者療養給付費、九億四千五百八十七万円
老人保健医療費拠出金、五億一千六十八万円等です。

前年度と比較すると、率にして二〇・二%、金額で三億九千九十九万円の増額となります。

(全員賛成で可決)

老人保健特別会計
医療給付費、二十億九千七百五十七万円等です。

前年度と比較すると、率にして一・二%、金額で二千六百二十四万円の減額となります。

(全員賛成で可決)

公共下水道事業特別会計
管きよ築造工事請負費、四億一千七百万円、水道管等移設補償費、一億一千万円等です。

前年度と比較すると、率にして八・五%、金額で九千六百三十三万円の減額となります。

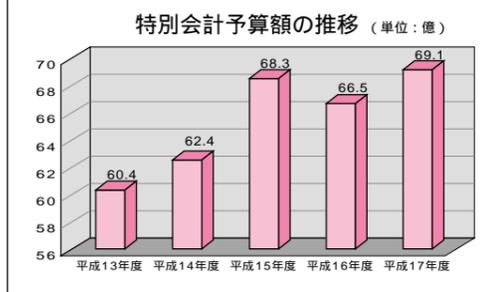
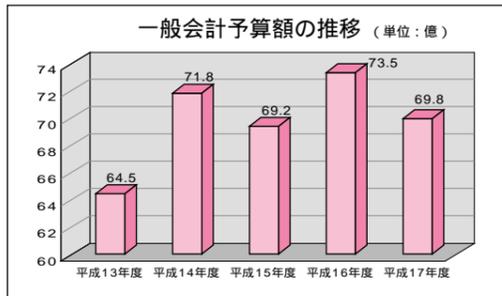
(全員賛成で可決)

水道事業会計
第六次拡張事業費(佐谷浄水場の拡張整備費)四億五千三百六十二万円等です。

収益的支出を前年度と比較すると率にして一六・一%、金額で七千六百九十六万円の増額となります。

資本的支出を前年度と比較すると率にして一一・六%、金額で八千八百九十九万円の減額となります。

(全員賛成で可決)



健全な財政運営を!

一般会計歳入歳出予算の総額は、六十九億七千六百万円で前年度当初予算と比較すると三億七千四百万円の減で、率にして五・一%と大きく減少しています。

昨年度予算の特殊要因として、減税補てん債(借金)の借り換えに関する予算二億七千八百八十万円が減少した主な要因です。

地方財政は、歳入の確保が非常に厳しい状況と

なっており、そのため歳入の抑制を図らなければなりません。

平成十七年度予算においても、徹底的な経費の節減が行われています。

具体的に経常経費では、職員の旅費削減、臨時雇用賃金の抑制、委託料の見直し、補助金の一部削減を行い、普通建設事業についても対前年度比一八・九%減で、特に緊急性を要する必要最小限度の事業の計上に抑えられ

ています。

このように、非常に厳しい予算編成となっておりますが、地方財政を取り巻く環境は益々厳しさを増す状況が続く中、議会としまして、なお一層気持ちを引き締めて健全な財政運営を行っているか厳しくチェックしていきたいと思っております。

しかし、法的に支出が義務付けられている扶助費、及び公債費等の義務的経費、並びに清掃施設組合、介護保険広域連合、消防組合への負担金、特別会計への繰出金等が増高しており、町財政においては、収支のバランスを維持することが非常に困難になってきています。

そのため、基金の取り崩しによって収支の不均衡を補わざるを得ない状況です。

平成16年度 一般会計予算総額 75億2,568万円

補正予算
平成十六年度の補正予算は、決算見込みを計算した結果、大幅な減額補正となりました。

六百八十七万円を減額して、予算総額十一億九千八十四万円になりました。

(全員賛成で可決)

農業集落排水事業
特別会計(第二回)
三十三万円を減額して、予算総額九千四百一十二万円になりました。

(全員賛成で可決)

水道事業会計

(第三回)

(全員賛成で可決)

老人保健特別会計

(第一回)

五百一十二万円を増額して、予算総額二十一億三千八百七十四万円になりました。

(全員賛成で可決)

公共下水道事業

特別会計(第三回)

(全員賛成で可決)

(全員賛成で可決)

国民健康保険特別会計

(第二回)

(賛成多数で可決)

一般会計(第六回)
一億九千九百三十六万円を減額して、予算総額七十五億二千五百六十八万円になりました。

発議

郵政事業の民営化に反対する意見書

政府は、平成十五年四月一日、日本郵政公社を発足し、民営化の準備を図っているが、民営化が行われると競争原理に基づき、収益向上の採算性を重視した事業の運営が行われるようになるのは必至と思われる。

したがって、都市部、地方を問わず不採算地域においては、郵便局の廃止や縮小、各種料金の値上げも想定され、地域住民の生活に大きな影響を及ぼすこととなります。

以上のことから、郵政事業は現在の国営で三事業を一体化した経営形態が最善であると考えます。よって、政府においては郵政事業については現在の国営の公社形態を堅持し、国民の日常生活に不可欠な郵政三事業を現

行のまま引き続き堅持するよう強く要望します。

提出議員 合屋 伸好
賛成議員 藤石 豊

“ 三角 良人
“ 緒方 義人
“ 井上 仁
“ 御手洗寿乃
“ 三上 政義
“ 今村 桂子

(賛成多数で可決)

賛成一〇・反対四
政府関係機関に送付しました。

したが旧東京セネラル(株)の破綻に伴い場所の確保に不安を抱いていました。

また、この総合グラウンドは、少年軟式野球連盟・ソフトボール連盟等も利用され地域には欠かせない場所となっており、この場が町所有になることを節にお願する次第です。

町が所有される事により利用価値が大きく広がり地域とのコミュニケーションがとれ、活力ある町づくりに参加できる場となることを確信します。

請願者

須恵バッファローズ
代表者 小島 謙治
紹介議員 三角 良人

(再び閉会中の継続審査になりました。)

理由：購入に当たって多額の費用を要し、また現在競売中であり、推移を見ながら慎重な審査を期すため。



請願

旧東京セネラル(株)グラウンドを公共用地として確保を求める請願

須恵バッファローズは、過去十五年間、この総合グラウンドを主たる練習場所として活動してきま

反対討論

賛成少数の報告がありました。賛成少数の報告がありましたが、全部消極的な意見だと思えます。

公的な立場にある図書館のビデオテープを貸出さないとするのは、ふさわしくないと考えます。たとえ一本でも貸出せるものがあれば、貸してやるのが公的な立場にある町の考え方だと思えます。

仮に貸出し中に、他の



貸出しが検討されているビデオテープ

ブを借りているとのことでした。

青少年の育成、また、子供たちを育てるという意味合いからも、たとえ貸出しできるビデオテープが一本であっても、この請願は通すべきだと思います。

反対討論者

(藤石 豊 議員)

今日ここで、採択されるか不採択になるかは別といたしまして、このことについては、先々、議員の中でも、関係執行部の中でも、DVDへの移行も含め、貸出す方法の検討は続けてやっていただきたいと思います。

反対討論者

(井上 仁 議員)

討論とは

表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することで、方法としては反対・賛成討論を交互に行い一人一回まで行えます。

賛成討論

委員会の審査報告に対し

貸出し可能な著作権付のビデオは、五本ありますが、購入するのには通常販売価格の数倍も費用が掛かります。

ビデオテープは、消耗するので管理が難しい。古いテープを貸出し、利用者のビデオデッキのヘッドをいためたり、巻きついたり弁償問題等が生じます。

人気のあるアニメ等は一日に三回ほど図書館で見られているということですが、貸出しをすればせっかく図書館に見に来たとき、ビデオテープがないということも考えられ、やはり図書館で観賞する方が良いのではないかと思います。

時代はDVDに移り変わってきているので、今後の進展を見て検討していけばと考えます。

賛成討論者

(今村 桂子 議員)
(三角 良人 議員)

陳情

ビデオの貸出し利用に関する陳情

須恵町図書館でのビデオの貸出しを要望します。志免町立図書館は平成九年より町民の要望により貸出しを行っています。須恵町民はビデオの貸出しを願っています。

須恵町に住んで良かったなと思えるよう、良いことは早めに取り入れて良い町づくりを考えるべきだと思います。

陳情者 林 登志子

(賛成少数で不採択)
賛成五・反対九

理由：著作権の問題等調査を必要とするため。



須恵町立図書館

ここが聞きたい!!

5人の議員が登壇!

答弁中の中嶋町長



今村 桂子 議員

不審者に対する安全対策マニュアルは整備されたか。
学校から保護者の携帯電話への不審者情報のメール配信は。



ステッカーを貼付している公用車

大阪府寝屋川市中央小学校で起きた教職員殺傷事件をきっかけに、学校の安全対策が再び大きな問題になっていきます。
十五年十一月議会で「学校の安全対策と危機管理は」との質問をしましたが、その後どのように改善されたかお聞きします。

問

問 学校の安全対策の改善は 危機管理マニュアルの見直しや改善を行います

さすまた等の防犯器具の配備は。
防犯訓練、学校への警官立ち寄り等地元警察官との連携強化は。
防犯ブザーの携帯は。
各学校ごとに巡回警備に当たる学校安全ボランティア(スクールガード)の育成、公用車等の巡回中ステッカー貼付は。

中学校においても今月中には配備する予定です。また、使用方法についても平成十五年度実技講習会を実施しましたが、今後とも随時、訓練を行うよう指導しています。

公用車等へのステッカー貼付についても引き続き実施していきます。



御手洗 寿乃 議員

今や国を挙げて少子化対策、子育て支援事業に取り組んでいます。国の基に関することですから、むべなるかなと思いますが、この度エンゼルプランに変わって、「次世代育成支援行動計画」を策定するために、二一歳調査を委託し、十六年度に計画を立案して、十七年度から十年間にわたって計画を実施するということですが、須恵町の次世代(〇歳、高校生)の二一歳がどんなものか、また、その策定された行動計画とはどのようなものか。

問

問 次世代育成支援行動計画とは 答 生き生きと子供を育て健やかに子供が育つ地域社会を目指す

答 平嶋子育て支援室長

平成十五年七月に次世代育成支援対策推進法が成立しました。
本町においては、平成十五年度に次世代育成二一歳調査を実施し、平成十六年度に行動計画作成のため、役場内の子育て支援に係る十の課の課長会を設置し、計六回の検討会を行っています。
また、民間の方の意見を聞くということで保育所・幼稚園の保護者の代表、ボランティアセンターで行っている「つくしんぼ」の子育て支援ボランティアの方々にも計三回、意見を聞いています。
この行動計画の基本理念としては、「生き生きと子供を育て健やかに子供が育つ地域社会を目指す」で、その中に七つ



子育て支援事業「つくしんぼ」

の基本目標を掲げそれぞれに三、四の基本対策を設けています。
この行動計画は、平成十七年度から五年間を前期、二十一年度以前期計画に対する必要な見直しを行ったうえ、平成二十二年からの五年間を後期計画とするものです。
今年の二月に最終取りまとめを行い、現在最後の構成に入っているところです。
昨年四月より、子育て支援室を設置しており、町政の大きな柱のひとつとして、この計画を進めていきたいと考えています。

答 東 教育長

今回の寝屋川市の事件を教訓に、教職員や訪問客等をも含めた学校の安全管理全般について、「危機管理マニュアル」の見直しや改善を行うよう学校長に指示しています。
携帯電話を活用したメール配信について本町は最近、携帯電話からむ事件が多発していることや、個人情報の管理などの面から、導入は当分の間見合わせ、志免町・宇美町の運用状況を見守りながら検討していきたいと考えています。

さすまた等の防犯器具の配備については、各学校すでに配備しています。
中学校においても今月中には配備する予定です。また、使用方法についても平成十五年度実技講習会を実施しましたが、今後とも随時、訓練を行うよう指導しています。

今年も少なくとも年に一回以上は「危機管理マニュアル」に基づいた訓練が実施されるよう指導していきたいと考えています。
地元警察との連携強化については、粕屋地区学校警察連絡協議会を通じて防犯意識の高揚を図ります。

防犯ブザーの携帯については、小・中学校児童全員に貸与しています。
ただ、携行していない児童生徒も見受けられるので、常時携行し万一の時には直ちに発せられるよう再度指導するよう学校長にお願いしています。



藤石 豊 議員

問 須恵パーキングエリア スマートインター
社会実験に対する今後の取り組みは

答 実験延長の方向を見極めながら計画していきます

問 スマートインターの社会実験は全国十四箇所を実施され、当須恵PAでも九州唯一の実験箇所として昨年の十二月十八日(土)から三月二十七日(日)までの期間で現在実験進行中です。
その実験結果により、須恵PAの今後のあり方が左右されるものと考えますが、将来の展望は本格的なインターチェンジを見据えた取り組みとして町長は、昨年六月議会で実行する旨の説明をされました。

答 中嶋 町長

将来的には、フルインターを、そして恒久化というのがすべての方が思っていることと思います。それをどのように町費をできるだけ少なくしてやるかということが、これからの問題であるかと考えています。

JHの九州支社長に、何台くらい通れば恒久化できるのか、また、採算性が合うのかという話をしたところ、詳しい台数は言われませんでしたけれども、当初我々は、五百台くらいは通したいと思っていました。千台以上の通過がなければ



須恵パーキングエリアスマートインターチェンジ

問 新たな農業基本法のもとでの農業のあり方は

答 実情に沿った実りある農業に再生できるよう努力します



稲永 信英 議員

問

食料自給率は、食糧安全保障と農業の多面的機能の発揮という食料、農業、農村基本法の二大理念を具体化した目標です。自給率問題をおろそかにすれば農政の根本が揺らぐこととなります。自給率年次目標が二〇一〇年から二〇一五年に五年間先送りされました。集落営農を組織し経営を一元化させ法人化を進めその要件として個人四ha、組織二〇ha以上とし、小規模農家の切り捨てとほんの一握りのプロ農家に委ねられようとしています。

問

農業の持続的安定的継続は集落営農しかないのです。しかし、地域にあった取り組み施策を考え、要件を満たしません。やる気のある農家も対象とした段階的施策を講じないと農業の構造改革は進みません。農業のあり方について見解を伺います。

答 平松 産業振興課長

当町の方針として、農地を農地として保全し、水稻を中心に据えた農業を展開していく基本姿勢に変わりはありませんが、現実問題として生産者の高齢化、農業離れ、後継者不足、個人農地の分散等々、須恵町でも全国レベルと同等の問題を多く抱えており、地域農業の推進からいつと危機的状況に近づきつつあると判断しています。



田を耕す風景

当町の解決策としては、機械利用組合を含めた集落営農の推進や、耕作者のあつせん、新規就農者の促進、農地利用集積等が必要不可欠であり、そのためには国の基本方針を前向きにとらえ、農家の方々には個人所有地である農地を農地として保全するという強い気持ちで望んでいただき、農業が職業として成り立つよう推進が行わなければならないと考えています。当課としましては、本年七月に改選される農業委員会の機能強化を願ひし、また、農区長会との計画的協議研究並びに関係機関との情報交換を密に行い、須恵町の農業が実情に沿った実りある農業に再生できるよう努力していきたくと考えています。

一般質問



森 勝己 議員

問 高齢者などの災害弱者の緊急対応策は

答 地域の人たちの結びつきを強くしていきます

問 一九九五年の阪神・淡路大震災から十年目を過ぎましたが、死者六千四百三十六名という甚大な被害をもたらしました。この災害で犠牲になった方々の半数以上が自力で避難することの出来ない高齢者や障害者という災害弱者と呼ばれている方々です。そこで当事者の防災に啓発の推進
地域における防災ワークショップの活用
避難場所と示す誘導等の設置
住民による自主防災活動の推進
はどのようにされるのか。

答 災害弱者と呼ばれる方がどこに住んであるかという問題・プライバシーの問題等を含め、区長さんを中心に民生委員さん、消防団、青少年指導委員会等での組織を作り上げていくことが必要ではないかと考えます。
大災害等、自衛隊・警察・消防が出勤しても初期段階では、誰が不明というところ等、地域の人々にはわからないことがあり、地域の結びつきを強くしていくということが大事なことだと思えます。
誘導灯については、防災計画が出来上がり次第に設置します。
平成十七年度、七箇所所にソーラーシステムの誘導灯を設置予定です。

問 青色回転灯を装備した自動車や
自主防犯携帯による防犯の取組みは

答 積極的に支援をしていきます

問 先日、寝屋川市の小学校での事件は大変なショックを受けたわけですが、学校の通学路での犯罪は後をたちません。
警察庁と国交省は平成十六年十二月より民間団体、地方公共団体が防犯パトロールに使用する車に青色回転灯を装備する申請がされていますが、防犯効果が期待できます。また、学校配信システム防犯情報メール等々ありますが、我が町も安全安心の防犯づくりを推進するためにこのようなシステムを導入してはどうか。

答 青色回転灯については申請に時間がかかったり手続方法等ありますが、関係NPO、また、自主的な組織等が配置されれば積極的に支援をしていきたいと考えています。
地域の方たちの車、地域をパトロールされる車に装備していただき、また、役場公用車が現場等に行く時、青色回転灯をつけて現場視察を行えば二重の防犯効果が期待できるものと思えます。
携帯電話を活用したメール配信システムについては、当分見合わせて近隣の運用状況を見守りながら検討していきたいと考えています。

3月議会を終えて



長澤 誠司 議長

この度、福岡県西方沖地震により被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。
平成十七年第一回定例会は通常、予算議会ともなわれております。
本年度一般会計予算は、歳入歳出総額六十九億七千六百万円で昨年より率にして五・一%、金額で三億七千四百万円の前年度より減額、これは平成十七年度・八年度の減税補てん債（借金）の返済に充てた三億七千四百万円が減少

した主な要因であります。今議会は、議員提出議案一件・全員賛成、意見書一件・賛成多数、請願一件・不採択、陳情一件・不採択、予算に対して質疑、請願・陳情に対するの討論と、いっしょに活発な意見の多く出た会議でした。
昨年の今頃は南部三町の合併協議会が行われていました。
平成十七年四月一日より合併新法（平成二十二年迄）五ヶ年の間に新たな枠組み、多くの諸問題について議論が深まっていくものと思えます。
平成十七年度も厳しい予算ですが、議会も後押ししていく所存ですので、町民皆様のご理解等よろしくお願い致します。

町長報告



中嶋 裕史 町長

ペイオフ全面解禁後の
公金運用について
さらには認定者数の増
加と介護給付費の上昇など
も併せて検討、考慮した結果、
介護保険料の変更が、今後とも、
平常時から給付負担額を高い方
から順位付け、偏差値化把握し、
安全な金融機関の選択を行い、
確実かつ有利な公金の管理に努めて
行きたいと思っております。

介護保険 グループ別
保険料の導入について
市町村合併による脱退
と再加入により、平成十七年度の
広域連合構成市町村は七十一市町村
から六十市町村となり、介護保険料の見直しが必要と

幼稚園・保育所一元化
幼稚園は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期であることから、
本町でも幼稚園・保育所一元化審議会を設置し、その施策について審議されています。
幼児期の教育には、幼稚園・保育所・家庭・地域社会が連携・協力して子供を育てなければなりません。
今後の課題として、四歳児・五歳児の教育内容の一元化
職員の人事交流による保育時間の弾力化
幼・保交流事業の実施



同じ園庭で遊ぶ幼稚園児と保育園児

委員会レポート 建設産業委員会

私たち建設産業委員会の直接の担当課は、建設課・産業振興課・上下水道部です。

また、学校の大規模改修など五百万円を超える工事案件については、当委員会の担当です。

年々予算の削減に迫られながらそれぞれに苦心しながら執行されておりますが、予算減の最大



更なる研鑽 つみながら

の要因は、国・県の補助金・交付金等の減少です。なお、継続で進めている公共下水道につきましては、当初の計画より大幅な遅れが生じておりますが、平成十六年度の普及率は三八%、平成十七年度で四二・八%を目標に進められております。

当委員会のメンバーは五人ですがそれぞれに専門分野に精通し、恵まれた委員会とっておりますが、さらなる研鑽をつみながら付託に応えていきたいと考えています。

委員長 井上 仁

建設産業委員会
写真右より

原野 敏彦 委員
三角 良人 副委員長
井上 仁 委員長
緒方 義人 委員
稲永 信英 委員

土木工事の施工について
工事名：脇本一号線道路改良工事

本路線は、町道乙植木〜平原線より乙植木コミュニティセンターに通じる通学路で、平成十六年度より継続事業です。

現況は、幅員が狭いうえ、舗装状況も悪く、歩行者の安全性に支障をきたしているため道路法面を利用し道路幅員を確保整備するものです。

(全員賛成で可決)

須恵中学校体育館大規模改修工事の施工について
工事名：須恵中学校体育館大規模改修工事

この体育館は、昭和五十五年に新築され、築二十四年を経過しており、老朽化が進んでいることから、教育環境の改善、建物の耐久性の確保を図るため大規模改修を行うものです。

(全員賛成で可決)



現場説明を受ける建設産業委員会

西体育館屋根防水工事の施工について
工事名：西体育館屋根防水工事

この体育館は、須恵町と雇用促進事業団との共同施工で、昭和五十七年に勤労者体育館として新築され、築二十三年を経過しており、老朽化が進んでいることから、社会体育施設の改修として、工事の施工を行うものです。

(全員賛成で可決)

下水道工事の施工について
工事名：一の浦〜橋本線水道管布設工事、須恵地区水道管切替工事、乙植木地区水道管切替工事、長礼地区水道管切替工事、甲植木地区水道管切替工事、旅石地区水道管切替工事、旭ヶ丘地区水道管切替工事、昭穂地区水道管切替工事

下水道工事に伴う水道管切替工事です。

(全員賛成で可決)

事、須恵地区管渠築造工事、乙植木地区管渠築造工事、長礼地区管渠築造工事、甲植木地区管渠築造工事、旅石地区管渠築造工事、旭ヶ丘地区管渠築造工事、昭穂地区取付管理設工事、旭ヶ丘地区取付管理設工事、旅石・甲植木・乙植木実施設計測量業務委託、補償費(管渠築造工事に伴う水道管切替工事)

平成十七年度の全体計画です。

(全員賛成で可決)

委員会レポート 総務文教委員会



元気ある 須恵町を

平成十七年第一回定例会を終えました。

国県の補助金も削減されてきていますし、これから先もどんどん削減されることは、覚悟をして将来を見据えていかなければならないと思っております。

当委員会では、総務関係はもとより文教関係では昨年より保育関係等も担当になり、幼・保一元化構想等、全体を見ながらしっかりと検討・審議しなければならぬと思っております。

今回の地震で避難場所の学校や公民館施設等、安全といわれた施設でも被害を受けました。

早急な点検・修理を行い安心して町民が生活できるようお願いいたします。

また、須恵中央駅前広場の整備や旧ハイパーマートの跡地利用の検討を行い、税収アップや中



中央地域の活性化を図り、元気のある「須恵町」をつくっていきたくと考えています。

委員長 柴田 真人

総務文教委員会
写真右より

合屋 伸好 副委員長
柴田 真人 委員長
豊永 主 委員
藤石 豊 委員
今村 桂子 委員

視察研修

平成十七年二月二十四日〜二十五日、駅前広場の開発を目的に群馬県大間々(おおまま)町に研修に行きました。

かつてから須恵中央駅では、駅前広場が狭く、一部道路と農地に高低差があり、面的な広がりを持たない土地利用が難しく、町民の利用環境の不便をきたしていました。



役場屋上から見た須恵中央駅

大間々町にある赤木駅は、開発前、駅舎の老朽化が著しく、駅前広場も狭く、右折レーンが無いために慢性的渋滞を引き起こしていたことから、整備事業が実施され、みごと町民の期待に応えられる駅前広場を完成させたいと願っています。

今回の駅前広場を視察して、須恵中央駅の整備事業に役立てていきたいと思っております。

同群馬県の駒寄パーキングエリア・スマートインターチェンジが、利用台数全国一位、続いて須恵パーキングエリア・スマートインターチェンジが二位と聞いていたので、足を伸ばし視察しました。

当町とは違い、田園の中の余裕ある四分の四スマートインターでした。

須恵パーキングエリア・スマートインターチェンジ社会実験は、皆様のご協力により順調に利用台数が増えています。

また、社会実験の延長が了承され、本年九月十七日までの社会実験延長が決定しました。

これからも、須恵パーキングエリアの恒久的なインターチェンジの設置のため、住民皆様のご利用とご協力をよろしくお願いたします。

報告者 柴田真人委員長

委員会レポート 環境福祉委員会

幸せな社会の実現を目指して

当委員会は、いわゆる「ゆりかごから墓場まで」広範囲にわたって担当しています。

役場の管掌で言えば、住民課・福祉課・保健環境課にあたり、予算・その他の議案・陳情等を審査しています。

わが町は、「共生のまちづくり事業」で福祉のまちづくりを目指しています。

「亀のパン」「ほたるの湯」「つくしんぼ」等々社会福祉協議会に委託して事業を進めています。更に精神障害者に対する支援づくりを検討しています。

また、介護予防給付サービスについて、今年度中にケアプランを策定し、来年度から計画がスタートします。

当委員会としての切なる願いは、健康で長寿・住み良い環境・ノーマラ

幸せな社会の実現を目指して

イゼーション（障害者や高齢者などのハンディキャップのある人もない人も地域社会の中で共に暮らせるような社会が通常であるという考え方）の理念に基づいた福祉活動を推進していくことです。

町民の皆様にも「何をしてもらえるか」から「何ができるか」を考え、そのエネルギーを必要の人に贈るといふ素晴らしい発想をしていただき、幸せな社会の実現に向けて共に活動していきたいと思っております。

委員長 御手洗 寿乃

環境福祉委員会

写真右より

森 勝己 委員
百田 善廣 副委員長
御手洗 寿乃 委員長
三上 政義 委員

審査

平成十五年度、福祉工房「亀のパン」を設立、昨年度からは精神障害支援について学習会に取り組み、障害者支援事業として展開しています。就労支援の主旨・目標は、

問 知的障害者が地域社会の一員として、就労の機会を得て社会的自立の支援を行うことです。また、美味しいパンを提供することにより経済

答 吉松 福祉課長

平成十七年度当初予算については、建設後二十二年が経過しており定期点検や保守により順調に処理業務は行われていますが、老朽化は否めず計画的な機器類の更新や補修工事を行う必要があります。

クリーンパークわかすぎの運営管理については、RDF施設において約三万六千二百トンの燃えるごみを処理し、大牟田リサイクル発電所へ約二万六千トンの固形燃料を搬出しています。

リサイクルプラザにおいては、約二千二百トン

を処理し、約六百三十

トンシリサイクル品として搬出しています。

平成十七年度当初予算については、総額二十五億四千七百五十三万円で前年度と比較して率にして八・七％、金額で二億四百二十万円の増額となります。

全議案、全員賛成で可決されました。

（報告 稲永信英議員）

的自立の支援を行います。さらには、労働を提供し賃金を得ることにより、社会参加の場を確立することなど障害者・健常者の隔たりを取り除き、支援体制の確立および施策を講じ、積極的な社会参加の促進を目標としています。

問 新年度予算にボイスコール借上料とあるが、何に使用するのか。

答 安部 住民課長

番号整理券を配布、順番をボイスコールでお知らせし、一日平均百件から百二十件の窓口業務をスムーズに行えるようになります。

問 旧ごみ焼却場の解体工事の予定は。

答 萩 保健環境課長

今年度、ダイオキシン類事前調査を行い、解体工事に伴う設計業務を委

託し、平成十八年度に解体工事を実施する予定です。

視察研修

志免町に創設の医療法人緑風会を視察し、精神障害者の支援についての研修を行いました。

病院・生活訓練施設（援護寮）・居宅介護支援センター（ホームヘルプサービス）・地域生活支援センターなどを訪問しましたが、利用者が初めて顔を合わせたのに、とても明るい表情で迎えてくれました。

一方、病院・施設スタッフのご苦労も大変なものだと実感しました。

今後、社会保障の充実も大切ですが一人ひとりが身近なできることから支援しなければいけないの思いで、社会福祉の増進と支援体制の確立に気持ちを新たに視察を終えました。

報告者 森 勝己委員

議員表彰



本定例会の最終日に議場において、議員表彰の伝達式が行われました。

全国町村議会議長会 表彰十五年

福岡県町村議会議長会 表彰十五年

豊永 主 議員
豊永議員は、現在総務文教委委員の要職に就かれています。

多年にわたり、町村議会議員として自治進行発展に貢献されたための表彰です。

今後、経験を活かされて夢のあめ「町づくり」「地域づくり」に「尽力」いただきたいと思います。

閉会中の組合議会報告

議員は、須恵町の議会中（年四回開催される定例会と必要に応じて開催される臨時会）以外でも、一部事務組合議員、特別委員会の委員として活動しており、三月定例会（初日）にその報告がありました。

須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会
（二月十六日）



篠栗町長選挙において三浦町長が就任されたことにより、組合議会規約に基づき互選を行い、組合長に須恵町中嶋町長、副組合長に篠栗町三浦町長が就任され、また組合

議会収入役には、須恵町稲永収入役が就任されました。

酒水園の運営管理につ

粕屋南部消防組合議会
（二月二十八日）



平成十七年度当初予算については、総額一十八億六千三百八十四万円で前年度と比較して率にして五三・七％、金額で十億四百万円の増額となります。

庁舎建設費が十四億三千八百二十六万円で約半分を占めていて、残りを前年度と比較すると約四億円の減額となります。

休日診療所特別会計については、総額三千三百九十四万円で、前年度と比較して率にして約十五％、金額で約六百万円の減額となります。

庁舎工事については、平成十八年三月竣工予定で、現在コンクリート打設工事が行われています。

全議案、全員賛成で可決されました。

（報告 百田 善廣議員）

全議案、全員賛成で可決されました。

北筑衛生施設組合定例会議会（二月二十一日）臨時議会
（三月一日）

平成十七年度当初予算については、総額四億三千三百四十四万円で、前年度と比較して率にして約一三・七％、金額で約一億五千二百

万円等です。本組合の組織する旧福岡町及び旧津屋崎町の合併に伴い、副議長の指名選挙が行われ、福津市の谷口氏が指名され、副議長に選任されました。

全議案、全員賛成で可決されました。

（報告 百田 善廣議員）